



第201号 毎月11日は小松島市の人権の日 発行所 小松島市 小松島市教育委員会 小松島市人権教育振興協議会

第44回 小松島市人権教育・啓発研修大会が開催される

第44回小松島市人権教育・啓発研修大会が、2月4日(水)、市サウンドハウスホールにおいて開催されました。開会行事の後、3つの部会の実践報告と熱心な協議が行われました。その実践報告の内容をお知らせします。



交流と挑戦を通して育つ子どもの心と人とのかわりを生かした

人権教育の実践
立江保育所後援会 福田 弘子 田川 絵梨

1 はじめに
立江保育所は、小松島市立江町のどかな山のふもとにあり、四季折々の自然に囲まれ、子どもたちは、のびのびと保育所生活を楽しんでいる。全児童24名と小規模ではあるが、そのよさを生かし、全員で様々な活動に取り組みことができている。保護者間の交流も多く、お互いに子どもの相談をしたり、成長の喜びをともに感じたりすることができ、環境に恵まれている。

(1) 2 人権教育推進事業

- ・保育所内
- ・「いっしょにあそぶでえ(DAY)」
- ・週1回リズム室や園庭で異年齢での活動をする。
- ・「チャレンジするでえ(DAY)」
- ・5歳児を中心に折り紙チャレンジ、けん玉チャレンジ、手作り楽器チャ

3 おわりに
子どもたちは「いっしょにあそぶでえ」や「チャレンジするでえ」などの活動を通して、自分や友達を大切に心が育ちつつある。また、保護者や地域の方々の協力のおかげで、挑戦する喜びや思いやりの心が芽生えた。大きく成長



レンジなど様々な活動に主体的に取り組む。
「人権教育たつえっこきらきらタイム」毎月11日にその月の人権テーマに沿った話を聴き、子どもたちの人権意識を高める。
(2) 地域との交流
・立江祇園囃子保存会の演奏
・立江寺ろうそくまつり
・立江八幡神社秋まつり
・天狗しばき
・竹ぼっくり作り
・立江町民文化祭見学
・小松島警察による交通安全キャンペーン
・立江小学校秋まつり
(3) 保護者間の交流
・子育てトーク座談会
・SDGsリサーチクルバザー
・エコ玉作り
(4) 保護者人権研修
・人権教育講演会
・人権DVD鑑賞
・親子体操
・大人のための絵本の読み聞かせ
・保護者アンケートの実施
(5) その他
・市人権教育学級への参加等
・ネイチャーゲーム
・阿波踊りチャレンジ

したその子どもたちを、常に優しく見守り、あたたかい気持ちで包み込むことが大人の私たちの大切な役割ではないかと人権教育の取組を通して気付くことができた。また、人権研修を通して、改めて人と人とのつながりの大切さを知ることができた。今後はますます少子化が進むと思うが、いつまでも地域のぬくもりを感じながら、心身共にのびのびと成長できる環境であってほしいと思う。

公民館活動と人権課題への取組

坂野公民館 笠原 光男

1 はじめに
坂野公民館がある坂野町は古くからの農村地帯で、今では大規模農業法人がある。坂野町の人口は1843人であり、少年高齢化が叫ばれる中、坂野小学校では令和7年4月の入学生は、卒業生が12人なのに対し、3人だった。令和15年度には新開、立江、榊、坂野を校区とした新小松島南小学校(仮称)が開校されると聞いています。地域内の教育施設である中学校がなくなり、小学校もなくなるかもしれないという現状があり、公民館の存在は、地域住民の結びつきを強める施設となろうとしている。



(1) 2 公民館活動の内容
開催 文化芸能祭 11月25日、26日の2日間

- (1) **3 人権課題への取組**
 「郷土の先人 樋口健三先生と喜田貞吉博士」 講師・柴田直哉指導員
 「幼児・児童虐待 見えない虐待をしないために」 講師・柴田直哉指導員
- (2) 11月24日 坂野・和田島・新開3公民館交流研修会
- (3) 12月7日 DVD上映による人権啓発研修会
- 4 **おわりに**
 公民館は防災、文化などの地域の拠点である。公民館事業を推進する中で、地域のニーズに応えるために何をすべきか、常に検討している。人権問題の研修には多くの世代の参
- (4) いきいき百歳体操
 筋力が衰えてきた高齢者がDVDで体操。毎月3回。
- (5) 田北カラオケクラブ
 カラオケにより歌を皆の前で歌う。毎月2回。
- (6) 田北自主防災会
 公民館地区内にある自主防災訓練。年2回。
- (3) 喫茶「乙女茶屋」
 高齢者が集まり、お茶を飲み、話をする。毎月3回。
- (2) うたごえカフェ「花いちご」
 参加者はバンド演奏で歌を歌う。毎月1回。
- (2) 墨画、洋画などの作品が出品され、芸能祭では20人がカラオケ、日舞、尺八などを披露。出品数82点、来館者156人だった。
- (2) 文化祭では坂野小学校全児童の人権ポスター、地元の著名な写真家、書道家の作品のほか、公民館を利用している人たちの書道、水墨画、洋画などの作品が出品され、芸能祭では20人がカラオケ、日舞、尺八などを披露。出品数82点、来館者156人だった。

加、協力を得て取り組んでいかなければならないと考えており、近隣の公民館の交流研修会は、すぐには効果が見えないかもしれないが、継続することに意義があると信じて、続けていきたい。

**「We Serve」で始まる
思いやりを一つずつ行動へ**

小松島ライオンズクラブ
 私たちの活動
 会長 圃山 成人
 前会長 河野 成人

1 **はじめに**
 ライオンズクラブは、世界最大の社会奉仕団体で、1917年にアメリカで創設された。日本では1952年に東京で最初のクラブが誕生し、現在では約2800のクラブ、10万人以上の会員が所属している。ライオンズクラブは、地域社会の発展や人道的奉仕活動を目的とし、「We Serve (我々は奉仕する)」をモットーに活動している。



私たちが小松島ライオンズクラブは、1963年4月20日徳島県内5番目のクラブとして誕生し、以来地元小松島の地域貢献を念頭に奉仕活動を続けています。

2 私たちの活動

私たちは、月1回「やまなみ珈琲店」をお借りして食事をしながら例会を開いています。

- 主なアクティビティ(活動)としては、
 - (1) 特殊詐欺等被害防止キャンペーン(年4、5回)
 - (2) 献血奉仕(年3回)(小松島市役所)
 - (3) 小松島菊花展の後援
 - (4) 非行防止カレンダー作成協賛
 - (5) ゴーヤ、朝顔等配布(小松島市役所)
 - (6) 本港地区や横須海岸の清掃
 - (7) 小松島ライオンズクラブ会長旗杯グラウンドゴルフ大会後援(坂野運動広場)
 - (8) 小松島ライオンズクラブ旗争奪小学生バレーボール大会主催(市立体育館)
 - (9) 小松島ライオンズクラブ杯ソフトバレーボール大会後援(市立体育館)
 - (10) 「はひふへほの会」クリスマス会支援協賛
- などがある。その他に、一昨年は県下のライオンズクラブが合同で、「サントデウオーク」を徳島駅周辺で開催し、集まった募金を県下の子ども食堂を運営する団体に寄付した。また、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)を通じて、能登半島の災害などにも義援金を出している。

3 おわりに

私たちは、「小松島が互いの人権を尊重し、人に優しい街になれば」と日々活動している。

しかし、結成時46名いた会員も現在14名。家族会員を含めても24名と減少し、活動にも支障が出てきている。私たち小松島ライオンズクラブは、新しい会員を募集している。

※「We Serve」の精神で、小松島のために活動したいとお考えの方、ぜひ私たちと一緒に活動しませんか?会場に配布した会報の最終面に、事務局の連絡先が掲載されていますので、よろしくお願いたします。

こまつしま市民人権のつどい
 12月6日 市サウインドハウスホール

第1部「中学生人権意見発表」

4名の中学生が意見発表をしました。「決めつけ」(小松島中学校1年生)、「切磋琢磨」(小松島南中学校1年生)、「人種差別」(小松島中学校2年生)、「亡くなった人の人権」(小松島南中学校3年生)と題して、人権学習や日常生活の中で感じた不合理な事象など、それぞれの思いや考えを発表しました。人権の大切さを様々な視点で訴える4名に、大きな拍手が送られました。



第2部「人権コンサート」

小松島市ふるさとアンバサダーとして活躍されている歌手、山崎といじさんに歌と語りを披露していただきました。



山崎さんは、元プロボクサーという異色の経歴を持つ島根県出身の歌手です。「小松島まつり唄」など9曲を熱唱され、その曲間に、視力を失いながら自分を応援してくれた母親への思いや、いろいろな困難を乗り越えながらプロボクサーになり、そこから歌手に転向して30周年を迎えた波瀾万丈の人生について、ユーモアも交えながら語ってくださいました。